

韓国環境部プレスリリース【2019-10-13 付け】

**江原道鉄原の民間人統制線内のイノシシからアフリカ豚コレラウイルス検出
国立環境科学院、江原道鉄原郡遠南面民統線内のイノシシへい死体 2 体からアフリ
カ豚コレラウイルス検出**

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?boardMasterId=1&boardId=1064255&menuId=286>

以下、機械翻訳などによる仮訳

【本文】

環境部所属の国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は 10 月 12 日、江原道鉄原郡苑南面榛峴里の民統線内の軍部隊から申告のあったイノシシへい死体 2 体からアフリカ豚コレラウイルスが検出されたと発表した。

科学院の現場対応チームは 12 日午前 07 時 30 分頃、民統線内のへい死体発見の通報を受けて 08 時頃、現場に出動した。

※試料採取後、へい死体は埋却措置し作業者の消毒及び周辺防疫作業を実施。

一方、09 時頃に初めて申告されたへい死体周辺で、また別のへい死体が発見され、2 つのへい死体を分析した結果、いずれもアフリカ豚コレラウイルスが検出された。

国立環境科学院チョン・ウォンファ生物安全研究チーム長は「今回 (ASF ウイルスが) 検出されたへい死体が発見されたところは、10 月 11 日にアフリカ豚コレラウイルスが検出された地点と非常に近い」とし「この地域は感染したへい死体がさらに出てくる可能性があるため、迅速な申告を呼びかけている」と述べた。

(以上)